

その絵は模倣か、魔法か

—— 狩野派絵画を味わうための2、3の視点

手本(粉本)^{ふんぼん}を尊重する狩野派の制作態度は「粉本主義」と呼ばれ、これまでしばしば批判の対象となってきました。現代の人々の多くは、芸術家の強烈な感性が作品に発露することを期待しがちです。そのような価値観から狩野派の作品をながめるならば、彼らの絵は剽窃や模倣にすぎないとさえ、見えるかもしれません。ただ、往時の画家の表現をつぶさにとらえ、鍛え抜かれた画技でそれを写した狩野派の仕事は、そんな軽薄な批判を簡単に退けるでしょう。

この講座では、まず狩野安信の『画道要訣』^{やすのぶ が どうようけつ}や狩野永納の『本朝画史』^{えいのう ほんちょうがし}などの文献史料を読み、その絵画観を把握します。その上で、狩野派の絵師が手がけた作品と、彼らが手本とした絵画を徹底的に比較してみます。鮮明な画像によって両者を見くらべ、原本と見まがうほどに精巧な絵画をつくり出した狩野派の高い技術に触れたとき、その絵画は模倣ではなく、魔法のように見えてくるはずです。

講師：廣海伸彦（出光美術館主任学芸員）

学習院大学大学院人文科学研究科博士前期課程修了（美学美術史）。江戸時代の絵画史を専攻。「岩佐又兵衛と源氏絵——〈古典〉への挑戦」（2017年）、「江戸名所図屏風」と都市の華やぎ」（2018年）などの展覧会を担当。

講座スケジュール

2020年 3月16日(月)

① 午前10時30分～12時30分（入場午前10時より 閉場午後1時30分）

② 午後2時～4時（入場午後1時30分より 閉場午後5時）

- * いずれも講座の内容は同じです。
- * 講義レベルは、大学での講義に準じます。
- * 各回とも講座のなかで、煎茶とお菓子の休憩時間を設けております。

募集人員： 各回 先着30名
（定員になり次第締め切らせていただきます）

受講料： 2,500円（入館料・資料代／煎茶・菓子付）

会場： 出光美術館
東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階
（出光美術館専用エレベーター9階）

申込方法： 当館ミュージアムショップにて事前にお申し込みください。
* お電話等での申し込みはお断りしております。

- * お申し込み時に講座日時指定の受講票をお渡しいたします。当日ご持参の上、美術館受付にてご提示ください。
- * お申し込み後の変更、キャンセルはお受けできませんので予めご了承ください。
- * その他、ご質問等ございましたら、出光美術館学芸課内、特別講座事務局までお問い合わせください。